リモコン設置工事説明書

名　称	型　式	
リモコンセット	MBC-262VC MBC-MB262VC	MBC-262V MBC-261VC
浴室リモコン	BC-240V	BC-240VC
台所リモコン	MC-262VC	MC-262V

工事される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 本品を指定する機器にご使用ください。

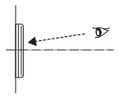
❶ 設置前の確認

工事資格

- 機器本体からリモコンまでの接続線は 24V 以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事で施工してください。

設置場所

- 下記の場所には取り付けないでください。
  - ・温度が高くなるところ　・直射日光のあたるところ
  - ・湯気のかかるところ　・油のかかるところ
  - ・段差のある壁面（ケースが変形して不具合が発生することがあります）
  - ・水しぶきのかかるところ…浴室リモコンの場合でも、シャワーのお湯などが直接かかるところは避ける。
  - ・特殊薬品を使用するところ（ベンジン・アルコール・油脂系の洗剤等）
- 浴室リモコン以外は、絶対に浴室内に設置しないでください。
- 浴室リモコンを取り替える場合は、壁面に残ったパッキンを取り除いてください。
- 浴室リモコンは入浴したまま操作できるよう、浴槽エプロンより少し上の、目の高さ程度の位置に取り付けてください。



インターホンリモコン（MBC-262VC シリーズ・MBC-MB262VC・MBC-261VC）取付時の注意

- リモコン間の距離が近い場合、ハウリング（キーンなどの大きな音がする現象）を起こすことがあります。工事の前に仮配線を行って支障なく通話できることを確認してください。なお、浴室と台所が近い間取りで扉を開けたまま通話テストを行うと、ハウリングが起きることがあります。通話テストは必ず浴室の扉を閉めた状態で、２人で行ってください。

その他

- リモコン本体は浴室リモコンの取り付け工事の際に取りはずすカバー以外絶対に分解しないでください。故障の原因となります。
- 壁面埋込配線の場合は、始めにリモコン取り付け壁面から２芯ケーブルが引き出されていることを確認してください。
- 音声スピーカが搭載されているリモコンに金属屑が付着すると音割れなどの原因になります。リモコンに金属屑などが付着しないように、壁に取り付ける直前に包装材をはずしてください。
- お客様へ引き渡し前の施主検査などによってリモコンと無線 LAN ルータを接続する場合は、作業終了時にネットワーク設定初期化の操作を行い、無線 LAN ルータやアプリの接続設定を消去してください。（取扱説明書参照）

❷ 機種設定とメンテ設定

- 熱源機の機種設定とメンテ設定をリモコンから行えます。設定方法は熱源機のフロントカバー裏面に収納されている故障診断シートを参照してください。

❸ 付属部品

- 梱包内には本書の他に下記の付属部品が入っています。設置工事の前にご確認ください。

浴室リモコン

部　品　名	形　状	個数	備　考
リモコン本体		1	
パッキン		1	両面離型紙付
⊕木ねじ φ 4.1 × 25		2	

台所リモコン

部　品　名	形　状	個数	備　考
リモコン本体		1	
壁取付金具		1	
⊕木ねじ φ 4.1 × 25		2	
⊕小ねじ M4		2	スイッチボックス用
取扱説明書		1	

※リモコンの変形や取り付け不良の原因となりますので、ねじ類は必ずリモコンに付属のものを使用してください。

※リモコンの２芯ケーブルはケーブルクランプ（現場手配）を用いて機器本体に固定してください。
機器の設置工事説明書をお読みください。

U352-0070×02 (00) Ⓚ
070 00012 67205 2

❹ 別売部品

- 別売部品は機器の必要に応じ別途お買い求めください。

名　称	型　式
コネクタ付２芯ケーブル （浴室リモコン用）	UC-25C- □□ UC-27C- □□ （リモコン側…2Pコネクタ 機　器　側…Y型端子）
２芯ケーブル （台所・増設リモコン用）	UC-25- □□ UC-27- □□ （リモコン側…Y型端子 機　器　側…Y型端子）
コネクタセット	UX-2-C （UC-25-50・UC-25-100・UC-27-50・UC-27-100を浴室リモコン用に改造する場合に使用）

名　称		型　式
BC 壁貫通取付セット		BC-KT-3
リモコン壁厚調節パイプ	取付壁厚（mm） 190 ～ 280 280 ～ 370	［部品コード］ 801-003-000（標準品は BC-KT-3 に付属） 801-004-000

注）リモコン壁厚調節パイプは、型式欄の（　）内に記載の部品コードでご注文ください。

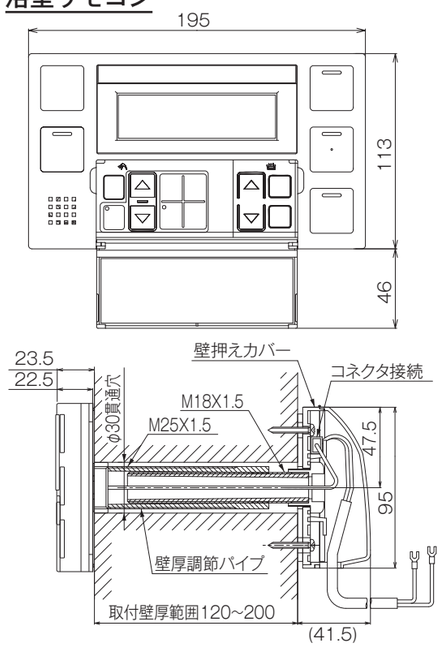
❺ ２芯ケーブルについて

- ケーブルは別売の専用２芯ケーブル（台所リモコン・増設リモコンは UC-25- □□または UC-27- □□、浴室リモコンは UC-25C- □□または UC-27C- □□）を使用してください。
- パイプシャフト設置・パイプシャフト扉内設置の場合は必ず UC-27- □□・UC-27C- □□を使用してください。
- パイプシャフト設置で市販品を用いる場合は、JIS C 3312 に合格の VCT を、その他の設置の場合は JIS C 3306 に合格の VCTF を用い、仕上外径９mm以下のものをご使用ください。
- 芯線の公称断面積が 0.5mm² より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ケーブルに Y 型端子をかしめる際、**芯線のヒゲなどが出ていると、端子に接続したときヒゲがもう１本のケーブルと接触してショートすることがあります。**これは機器が正常に作動しないばかりでなく、機器本体の電装ユニットの故障にもつながりますので、**芯線のヒゲには十分にご注意ください。**
- ２芯ケーブルは他の電気製品の電源コードと離して配線してください。洗濯機・冷蔵庫・衣類乾燥機などの電源コードと近接・併走配線すると、機器が作動しないことがあります。また、テレビ・ラジオ・ステレオなどの電源コードと接近して配線すると、テレビなどの画像・音声にノイズ（雑音など）が入ることがあります。
- ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線してください。
- ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷が付かないように保護してください。
  ・メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないように十分距離を確保してください。
- 各リモコンの２芯ケーブルの長さは 25m 以内とし、ケーブル線の総延長が 50m 以内になるようにしてください。
- ２芯ケーブルが余る場合は、機器の外にて処理してください。
  （機器の中へは絶対に押し込まないでください）
- ２芯ケーブルを機器本体と接続するときは、機器の電源プラグが抜いてある（分電盤の専用スイッチが「切」になっている）ことを確認してから行ってください。
- ケーブル線を電線管に入れて配線する場合は、ケーブル仕上外径は、端子をケーブルにかしめる前と後では異なりますので注意してください。
- コネクタ付２芯ケーブルの場合は 2P コネクタがあるため電線管呼び φ25 以上をお使いください。
- ２芯ケーブルの場合は電線管呼び φ 19 以上をお使いください。

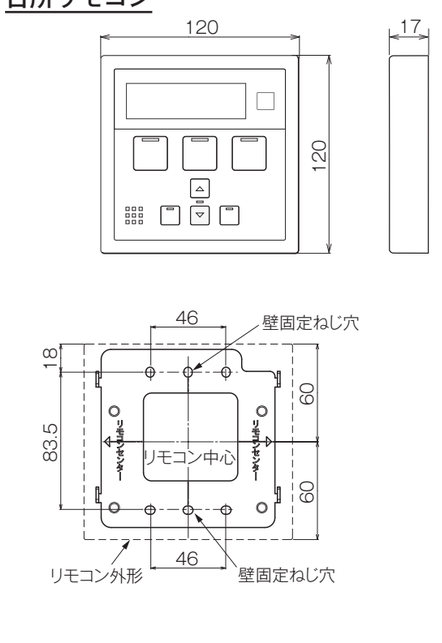
❻ 外形寸法図

単位：mm

浴室リモコン



台所リモコン

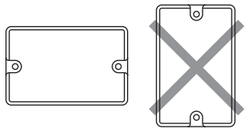


7 浴室リモコンの取り付け

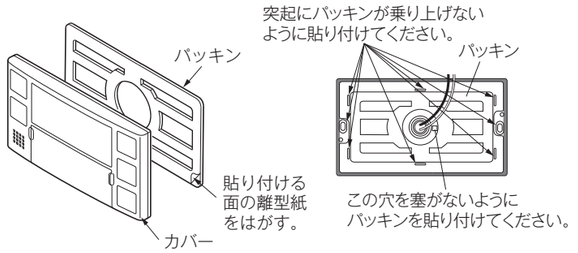
スイッチボックスに取り付ける場合

●スイッチボックスは JIS C 8340 の 1 個用スイッチボックス（カバー付き）ーコンクリート壁用または、1 個用スイッチボックス（カバーなし）ー木造真壁用をお使いください。

●スイッチボックスは横向きに施工してください。
縦向きでは施工できません。



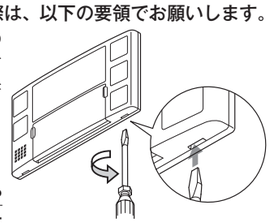
①浴室リモコン取り付け壁面よりケーブルが引き出されていることを確認してください。
②リモコン本体裏面に付属のパッキンを貼り付けてください。（下図参照）



③浴室リモコンの 2P コネクタをコネクタ付 2 芯ケーブルの 2P コネクタに接続してください。
④カバーを取りはずしてください。

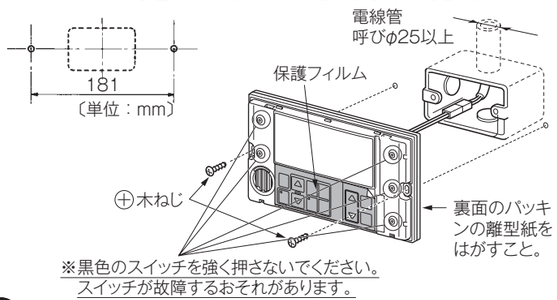
◆リモコンのカバーを取りはずす際は、以下の要領でお願いします。

※⊖ ドライバーをリモコン底面の溝に差し込んで、ゆっくり回してはずします。反対側も同じ方法ではずします。



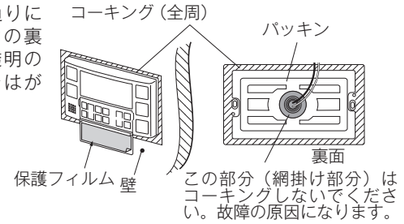
注意
ドライバーを溝に差し込むときや回すときはリモコン本体に傷を付けないようご注意ください。
※推奨ドライバー：先端巾 6mm
（先の細い⊖ ドライバーを使用すると傷がつくおそれがあります）

⑤浴室リモコンに貼り付けてあるパッキンの離型紙をはがして壁面に貼り付けてください。なお、貼り付ける際はリモコン全体を壁に押し付けてください。
⑥浴室リモコンを壁面に付属の⊕木ねじにて必ず固定してください。壁（または壁の素地）がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴（φ 6、深さ 25mm 以上）を 2 か所あけ、オールプラグ（市販品）を入れてから、付属の⊕木ねじにて固定し、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



注）木ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー（ドライバードリル）の場合は、0.49N・m（5kgf・cm）以下のトルクで締め付けてください。
注）パッキンの離型紙を取ってから取り付けてください。
注）必ずコーキング剤で全周コーキングしてください。

⑦カバーをもと通りに取り付け、フタの裏に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

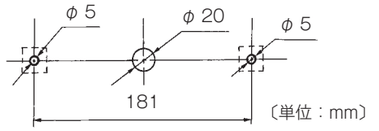


壁貫通式の場合

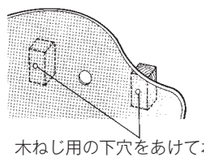
●別売の「BC 壁貫通取付セット（BC-KT-3）」が必要です。工事方法は BC-KT-3 の設置工事説明書をご覧ください。

ユニットバスに取り付ける場合

①取り付ける壁面にケーブル取り出し用の穴 1 個と浴室リモコン取り付け用の穴 2 個をあけてください。

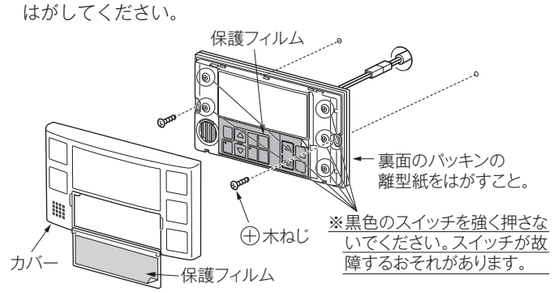


②浴室リモコン取り付け用穴の外側に補強用の木片を取り付けてください。



③ケーブル取り出し用の穴にコネクタ付 2 芯ケーブルを通してください。

④リモコン本体裏面に付属のパッキンを貼り付けてください。
⑤浴室リモコンの 2P コネクタを、コネクタ付 2 芯ケーブルの 2P コネクタに接続してください。
⑥カバーを取りはずしてください。（「スイッチボックスに取り付ける場合」の④参照）
⑦浴室リモコンに貼り付けてあるパッキンの離型紙をはがして壁面に貼り付けてください。なお、貼り付ける際はリモコン全体を壁に押し付けてください。
⑧浴室リモコンをユニットバス壁面に付属の⊕木ねじ 2 本で必ず固定し、スイッチとフタの裏に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

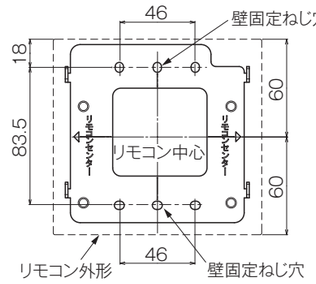


注）木ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。
また、トルク規制ができるドリルドライバー（ドライバードリル）の場合は、0.49N·m（5kgf·cm）以下のトルクで締め付けてください。

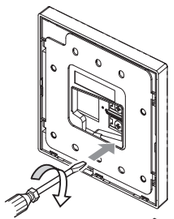
8 台所リモコンの取り付け

露出配線で台所リモコンを木壁面やコンクリート壁面に取り付ける場合

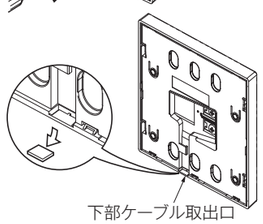
①壁取付金具を壁面に付属の⊕木ねじにて固定してください。壁（または壁の素地）がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴（φ 6、深さ 25mm 以上）を 2 か所あけ、オールプラグ（市販品）を入れてから、付属の⊕木ねじにて固定してください。MC-120V、MC-100V など、従来の壁取付金具とは互換性がありませんので、既に取り付いている壁取付金具は取り替えてください。
※木ねじを締め付けすぎると壁取付金具が変形するおそれがありますのでご注意ください。取り付け後は壁取付金具と壁にすき間がないことを確認ください。



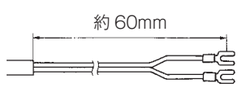
※壁取付金具が台所リモコンから取りはずしにくい場合は、壁取付金具とリモコンの隙間（右図の位置）に⊖ ドライバーを差し込み、ゆっくり回してはずしてください。



②ケーブル取出口をニッパーなどで切り取ってください。

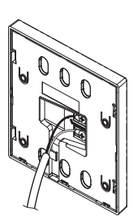


③２芯ケーブルの外側の被覆を約 60mm むいてください。



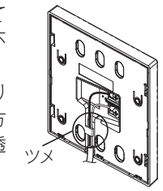
④２芯ケーブルのＹ型端子をリモコン裏面の端子に接続してください。

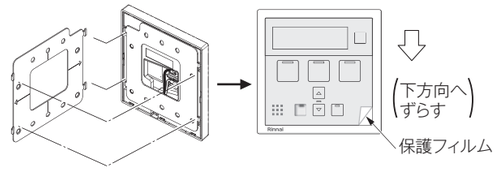
接続の際には、ビスのゆるみ、芯線のヒゲが出ていないことを確認ください。



注）パッキンの離型紙を取ってから取り付けてください。
注）必ずコーキング剤で全周コーキングしてください。
「スイッチボックスに取り付ける場合」の⑥注　参照
⑨カバーをもと通りに取り付けてください。

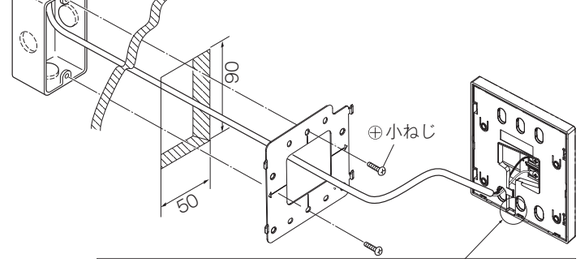
⑤２芯ケーブルをケースのツメに引っかけて固定してください。
※２芯ケーブルの被覆が完全にケースから出ていることを確認してください。樹脂が変形し不具合が発生することがあります。
⑥取付金具のツメがリモコンの穴に入るように取り付けた後、カチッと感触があるまでリモコンを下方向にずらして取り付け、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。





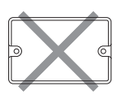
壁内埋込配線で台所リモコンをスイッチボックスに取り付ける場合

①壁取付金具を付属の⊕小ねじ（M4）にて、スイッチボックスに取り付けてください。
注）小ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。壁取付金具が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー（ドライバードリル）の場合は、0.49N・m（5kgf・cm）以下のトルクで締め付けてください。



このツメは露出配線用です。スイッチボックスに取り付ける場合は、ケーブルを引っかけないでください。露出配線以外でこのツメを使用すると不具合が発生することがあります。

※横向きのスイッチボックスには施工できません。



②２芯ケーブルのＹ型端子をリモコン裏面の端子台に接続してください。
③取付金具のツメがリモコンの穴に入るように取り付けた後、カチッと感触があるまでリモコンを下方向にずらして取り付け、スイッチに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。
注）リモコンを壁に固定するときに、ケーブルが壁取付金具とケースの間に挟み込まれると、樹脂が変形し不具合が発生することがあります。特に壁埋込配線でスイッチボックスを使わずに施工する場合は、よく確認して設置してください。
注）台所リモコンを設置する建物が高気密のコンクリート住宅の場合や、台所の換気口が小さい場合などは、換気扇を回すと部屋が負圧になり、リモコンの取付面と壁との隙間から外気が流入してリモコン周囲の壁が変色することがあります。換気扇を回したときにリモコンの周囲から外気の侵入が感じられた場合は、台所リモコン全周をコーキング剤でコーキングしてください。